



ぴらぴだより

No12. 2025. 2. 28

「明日のぽろには絶対行きたい!!」小学校1年生(当時)の息子。ぽろを休むという選択肢、彼にはなかったのです。

家族みんなでの立ち会い出産。深夜に本格的に始まった陣痛のゴールは、“ぽろに間に合う時間”に設定されました。助産師さん「よしっ!朝までに産んじゃおうね!」バースプランにはなかった目標時間設定のおかげか、順調にお産が進み、分娩所要時間は3時間48分。2555gの女の子が誕生。

夜通し起きていて結局、朝方眠ってしまった息子。ぽろをお休みすることに…。目覚めて、「ぽろに行きたかった～」と大泣きでした。親族よりも先に、ぽろスタッフに欠席連絡を兼ねた出産報告をしたのです。

真夜中、助産所の薄暗い部屋の中での出産だったこともあり、半分寝ながら立ち会ってくれた夫は、私ではなく助産師さんの足をさすっていたようです…。助産師さん「旦那さん、相当疲れてるね(笑)」と。

ちなみに、母のお腹をずっとさすってくれた長女5才(当時)の感想は、「りっちゃん、大きくなってから赤ちゃん産まなくていい…」でした。

これから始まる産後入院5日間、家事育児から解放され、かわいい赤ちゃんと二人でのんびり、美味しいごはんを頂いて、ゆったり過ごす予定でした。入院バッグにはアロマをはじめ、リラクソグッズ、読みたい本などを詰め、わくわく旅行気分。

それなのに、その予定だったのに…。我が子は産後間もなく助産師さんに付き添われて、医療センターへ救急搬送されました。

一人取り残された私。なにがなんだか状況が飲み込めず、震えも涙も止まらず、助産所の天井を見ながら眠れぬ夜を過ごしたのでした。

その日から約一カ月、搾乳してはパックに詰めクーラーボックスに入れて、娘が入院しているNICUへ届ける生活が始まりました。一日の面会時間は1時間。「私は赤ちゃんを産んだのだろうか…」 思い描いていた産後とは程遠い生活でした。

当時の私はメンタル崩壊、やさぐれていたもので、「別に…。どっちでもいい…」と、何事にもやる気が出なくて、反抗期の息子(現在中学3年生)のような態度。

産後すぐでしたが、運転も再開、病院へ向かう車の中が唯一、周りを気にせずに思う存分泣け

る場所だったのです。色々を考えても涙、何も考えてなくても出てくる涙…涙腺コントロール制御不能。私の心は暗いトンネルの中にありました。

先のことをあれこれ心配して不安になっていたけれど、家族や助けてくれるお母さん仲間、娘と一緒に過ごす日々、何よりも目の前にいる娘自身が暗いトンネルから引っ張り出してくれました。ありがたいことにガイドブックをゆっくり読む暇もないくらい慌ただしい毎日（現在進行形）。

時を戻して、現在8才になった娘は面白い女子に成長中です。

（ある日の会話）

娘「おばあちゃん、だ～いすき！」

祖母「おばあちゃんのどんなところが好きなの？」

娘「パジャマ！」

祖母「えっ…、そう…」

友達や先生が大好きで“つながる、むすぶ”という願いを込めて名付けた名前の通り、色々な人と繋がって、楽しい毎日を過ごしています。

最近の娘の口癖は、「しあわせ～」。ご飯を食べて「しあわせ～」、お風呂に入って「しあわせ～」。先日、改装工事中で閑散としたスーパーに入って一言。「わあ！きれい～しあわせ～！」彼女の尺度に若干の不安を感じますが…。

その「しあわせ～」を聞いたたびに、母も幸せな気持ちになるのです。

生まれたばかりの尊い赤ちゃん、貴重な新生児期の娘を不安な気持ちで、涙越しにしか見られなかったこと。素直に「生まれてきてくれてありがとう」と、言えなかったこと。もったいなかったなあと、悔いています。

この場をお借りして。娘よ、生まれてきてくれてありがとう～！感謝感謝の毎日です。

追伸。ぴっぴの子どもたちにも生まれてきてくれてありがとう～と、お伝えください。

みんなのおかげで楽しいぴっぴ生活を過ごしています。

我が家でよく読む絵本のあとがきにこんな言葉があります。自分とは「違」となる存在と共存するためのヒントとなる言葉だそうです。

“「同じ」って、うれしい。「違う」って、たのしい。”

違いを楽しんでくれる人たちに囲まれて、楽しみ、喜び、おおきく成長できますように、
願いを込めて。

：茂木加代

木 森であそぼう! つくろう! みつけよう! 3月

雪の森。雪の上に点々とつく足跡があります。いったい誰の足跡でしょう。足跡からは種類だけでなく、どんな行動をしていたか(急いでいた、ゆっくり歩いていた、木に登った etc...) など様々な情報を足跡から知ることができます。

雪の上で生き物たちがどんな風にすごしていたかを想像しながらの森散歩♪ オススメですよ♪
(菜々庵)

ニホンリス 4cm [2.5cm] 3cm

アカネズミ 1.4 1.4 1.8

リスによく似るが、しっぽの跡があり、リスより小さい足跡

チユウがヨヨをなげたとようなわいらい足跡で木の間を走ることが多い。途中木の根元で足跡が消えるの!? そんな姿を想像するのも楽しい!

前足をついて、その後、後足が前にくるといった独特の足跡。

足跡の途中でこんなコロコロのフンをみつけることもあります。

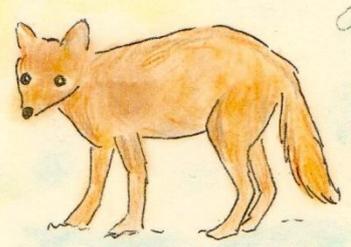
ほとんどが木や草の皮を食べるのでコロコロのよう

速度が速いほどこの幅が広がります。

ウサギ 5 16 3.5

ギツネ 4.5 3.5

火田や田んぼなどの開けたところをよく歩き、後足が前足に重なるのでほぼ一直線のように見える足跡の



鳥の足跡
草やぶけなどで種と食べた餌などにみられることも♪

ニホンカモシカ 3-5 5-7 8 5

カモシカの足跡は半月の向かい合った形で、似たイノシシは副蹄があるので区別できる。そしてイノシシは体が重いので(100kgほど)あまり雪深いところは歩かない。